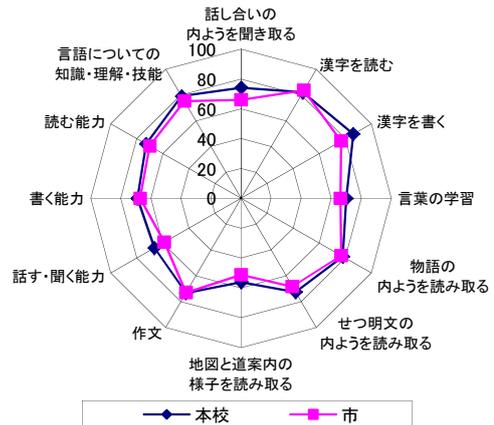


宇都宮市立豊郷中央小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

問題の内容別	本年度		
	本校	市	
話し合いの内ようを聞き取る	74.1	66.1	
漢字を読む	82.0	83.5	
漢字を書く	86.2	76.9	
言葉の学習	70.0	66.2	
物語の内ようを読み取る	78.1	77.0	
せつ明文の内ようを読み取る	72.5	68.3	
地図と道案内の様子を読み取る	56.2	51.2	
作文	73.2	73.1	
観点別	話す・聞く能力	66.5	58.9
書く能力	69.0	67.2	
読む能力	73.0	70.2	
言語についての知識・理解・技能	79.0	75.1	



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	○平均正答率は74.1%で、市の平均の66.1%に比べ大きく上回っている。特に、話し手の共通点を聞き取る問題の正答率が高かった。	○学校生活の中で話を聞く場面はたくさんあるので、話を聞くときは話し手を見て注意深く聞いたり、自分の考えと比べながら聞いたりすることを引き続き意識させていく。
漢字	○漢字を読む問題の平均正答率は82.0%で、市の平均を1.5%下回っている。市全体の平均よりも6%下回った問題もある。 ○漢字を書く問題の平均正答率は86.2%で市全体の平均を9.3%上回っている。市全体の平均よりも10%以上上回った問題もある。	○漢字の意味を理解させるとともに、送り仮名や訓読み、その漢字を使った多くの熟語に触れさせ、幅広い用法を身につけさせていくことが大切と思われる。漢字スキルの学習を中心に、日常生活の中で積極的に漢字を使うよう指導していく。
言葉の学習	○平均正答率は、市の平均を3.8%上回っている。文の構成(連体修飾語)についての問題の平均正答率は、やや低かったが、故事成語の使い方についての問題の平均正答率は高かった。	○話す、聞く、読む、書くのそれぞれの活動において、主語や述語の関係を意識させることで、内容を正しく把握させたり、筋道を立てた文を作らせたりしていく。
物語の内ようを読み取る	○平均正答率は、78.1%でほぼ市の平均と言える。登場人物の様子や気持ちを読み取る問題の正答率は高かったが、登場人物の気持ちの変化を読み取る問題の正答率はやや低かった。	○読書を奨励し、さまざまなジャンルの本に親しませていきたい。物語では、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を正しくとらえさせるためのヒントとなる言葉を意識し指導していく。
せつ明文の内ようを読み取る	○平均正答率は72.5パーセントで、市の平均を4.3%上回っている。段落ごとの要点に注意して読み取る問題や、細かい点に注意して文章を読み取る問題の正答率は、市全体の平均を約5～8%上回った。	○段落ごとの内容に見出しをつけてまとめるなどして要旨を理解させる。また、段落と段落の関係を図に表すなどして説明文全体の構成をとらえさせる。
地図と道案内の様子を読み取る	○平均正答率は、他の内容の問題に比べると、本校も市の平均も低い。地図を読み取った上で、適切な言葉で道案内をする問題では、本校の児童の正答率は市全体の平均よりも高かった。	○時と場に応じて適切な言葉を選んで話すことは、今後も益々重要になっていく。今回の問題の場合は「まっすぐ進む」「二つ目の信号を左に曲がる」などの話し方である。聞くときは聞こえた言葉を都合よく大まかな意味で捉えるのではなく、注意深く聞き正確に理解するような指導を学校生活の中で意識させていく。話すときは相手に伝わるような話し方を考え言葉を選ぶことを意識させていく。話したり聞いたりすることに責任があることを伝えていく。
作文	○平均正答率は、市の平均を3.9%上回っている。自分の考えを書く際に注意する点が4つあったが、それらに気を付けて文章を書くことは難しいようである。特に、指定された長さで文章を書く問題は市の平均よりも正答率が低かった。二段落構成で文章を書いたり、書こうとすることの中心を明確にして書いたりする問題の正答率は、市の平均よりもやや高かった。	○国語の時間に限らず、他の教科や言葉の時間などにも文章を書く機会を設け、文章を書くことの楽しさを味わわせ抵抗感を減らしていく。条件に合う文章を書いたり、依頼やお礼の文など様々な文章を書いたりすることで、相手意識や目的意識をもった文に慣れさせていく。